



# 日耳鼻医学会FAXニュース

# NO 100

平成17年4月16日 発行 特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

= 医会FAXニュース100号発行ご挨拶 =

理事長 清水淑郎

この「日耳鼻医学会FAXニュース」は平成7年(1995年)に「日耳鼻医連FAXニュース」として刊行されました。途中、平成13年、改組により「日耳鼻医学会FAXニュース」と改称され、この度めでたく100号記念号をお届けする運びとなりました。ここに一つの区切りとしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

FAXニュースの内容は、本会の活動状況(理事会、会長協議会、総会など)、臨床家フォーラムの案内、厚労省よりの通達、日本医師会の意向、診療報酬改定の影響、その時々の特トピックスなどであり、各地の情報を伝達して参りました。約10年間で100号ですから、殆ど毎月のように発行され、大変好評であったと自画自賛しておりますことをお許し下さい。

この仕事は、通信事業が進歩したとはいえ、一貫して鹿児島在住の伊東祐久理事が担当され、大変なご苦労をされたことに対し、心よりご慰労を申し上げる次第です。

また、平成12年から16年までは、バイエル社の格別のご支援により、続行出来ましたことをご報告して同社に対し、厚くお礼を申し上げます。

最近、本会の目的および事業に賛同して頂き、新規入会希望の先生方が増えつつあり、大変心強く嬉しい事があります。耳鼻咽喉科には、学会と医会が絶対必要なのであります。入会の先生に勇気を受けて頂き、これからも引き続き貴重なニュースを発信して参りたく存じますので、何とぞ宜しくご愛読の程お願い申し上げます。

## 訂正とお詫び

前号の補聴器販売店が耳鼻科受診をすすめる事例の解説で、「改正薬事法によると、販売店は顧客が以下の事例に該当する時は耳鼻科受診をすすめないといけない。」とありましたが、以下に掲げる事項は薬事法とは関係なく補聴器販売店の自主的な指標として考案された項目でした。誤解を招くような記事になりましたこととお詫び申しあげ、陳謝致します。

1. 耳の手術などによる耳の変形や傷がないか
2. 中耳炎などで過去90日以内に耳だれがなかったか
3. 過去90日以内に突発性または進行性の聴力低下がなかったか
4. 過去90日以内に左右どちらかの耳に聴力低下がなかったか
5. 急性または慢性のめまいがないか
6. 耳あかが多くないか
7. 外耳道に湿疹、痛み、または不快感がないか
8. 500,1000,2000Hzの聴力に20dB以上の気導骨導差がないか

## 「医行為ではないもの」を明確化

厚労省は3月31日、体温測定や、血圧測定、医薬品の使用介助など、原則として医行為ではないと考えられるものを明示するため、意見募集を開始した。

厚労省は原則として医行為ではないと考えられるものとして、上記の他、新生児以外で乳治療の必要のない者に対する動脈血酸素飽和度測定のためのパルスオキシメータ装着、軽微な切り傷、擦り傷などについて専門的な知識を必要としない処置など。また、耳垢栓塞を除く耳垢除去も考えられている。

## 医師資格の確認方法を検討 尾辻厚労相

3月29日の閣議後会見で尾辻厚労相は、患者にとって目の前にいる人が「医師であるかないかということを確認する方法については検討してみたい」との考えを示した。また、医師免許を保持しているという事実がプライバシーであるかについても「ちょっとそこは微妙。省内で検討してみたい」とした。

なお「規制改革・民間開放推進3カ年計画」の検討項目から、医師免許の更新制度導入は削除された。

## 医療情報を刻印するアクセサリ発売

既往症、医薬品、アレルギーなどの情報を刻印するアクセサリ「MEDIC INFO」を(有)プレシャス・アイが発売した。素材は純チタンで、ペンダントとブレスレットの2種類。価格は税込みで29400円と29925円。それを身につけていれば旅先などで緊急に医療情報が必要になった場合でも、相手に伝えることが出来る。欧米諸国では既に「MEDICAL ID」や「Medical Alert Jewelry」などの総称で普及しており、ペンダント、ブレスレットのほかに時計、キーホルダーなどの形で提供されている。注文はHP(<http://www.medic-info.jp/>)から。

## 経営主体別診療科別診療諸率 04年11月分

【医科入院外 抜粋】

	1件当点数	1件当日数	1日当点数
総合計	1029	1.7	604
病院計	1339	1.6	862
診療所計	907	1.8	514
耳鼻科計	753	2.1	357
耳鼻科 本人	720	1.8	395
耳鼻科家族3才以上	712	2.1	342
耳鼻科家族3才未満	1043	3.0	347
医療保険高齢者8割	880	2.7	325
医療保険高齢者9割	902	2.8	326
老人保健8割	913	2.8	327
老人保健9割	931	2.7	340

『藍方医』デパートやコンビニなどの店員が使う言葉に違和感を覚えたことはありませんか。例えばレジ「千円からお預かりします」。正しくは「千円をお預かりします」と言うべきなのに「から」とは何? 本来の「千円をお預かりします」と「千円から代金の五百円を頂きます」という二つの表現を一つにまとめてしまうことで、会話を省略しているらしい。これを「ファミ・コン言葉」と言うそうだがファミリーレストランでは、店員が運んできたコーヒーをテーブルに置いて「こちらコーヒーになります」。今まではコーヒーでないが、これからはコーヒーになるみたい。ファーストフード店では、さらに慇懃無礼となる「こちらでお召し上がりでよろしかったでしょうか」。まだ店内で食べるとは言っていないのに先取りだ。「以上ご注文のほう、よろしかったでしょうか」。どの客にも同じ表現、同じ順序で繰り返す紋切り型の接客敬語は、単価の安い商品を安い労働力で大量に売るために工夫されたそう。敬語に慣れぬアルバイト店員に、客の注文をしっかりと確認させるには、素人でも使える決まり文句を口伝えで教えるに限る。でも、効率優先は売り手側の都合だから、相手の感情への配慮に欠ける。店員はオウムみたいに言うだけで、客との心地よい会話は成立しない。客は立場が侵されているような気がする。(積) - とくしま県医ニュースより -